

10周年
ありがとう号

認定NPO法人キープ・ママ・スマイリング

2023年度活動報告書

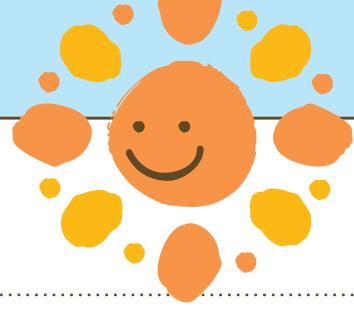
2023年度のトピックス

国、動く。付き添い環境「改善元年」へ。

認定NPO法人に認定されました。

支援したご家族が1万5000人を超えました！





キープ・ママ・スマイリング10年のあゆみ

10年間のご支援に心から感謝申し上げます



2024年11月、キープ・ママ・スマイリングは10周年を迎えます。活動を始めた当初は、「入院する子どもに付き添うご家族に、おいしいごはんを少しでもほっとして欲しい」という一心でした。そこから物や情報による支援、調査や国への提言など活動が広がり、

2023年度は国が付き添い環境改善に動き始めた大きな節目の年になりました。これまでお力添えをくださった皆様への感謝を胸に、引き続き、付き添うご家族の支えになれますよう、スタッフ一同力を合わせて活動してまいります。

理事長：光原ゆき



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
環境改善への働きかけ 国や社会への働きかけ 啓発			◎2014年11月／団体設立  理事長の光原ゆきは、6つの病院で付き添いを経験	◎2019年11月／オフィス開設  現住所にオフィスを開設。ここから応援バックが発送されています	◎2019年12月～2020年2月／聖路加国際大学と共同で「入院中の子どもの家族の生活と支援に関する実態調査」を実施	◎2019年11月 ◎2020年初頭から covid19 が感染拡大し、付き添い家族が孤立を深める	◎2020年4～5月／コロナ禍緊急独自調査「入院中の子どもと付き添い家族の困りごとや不安について」実施		
直接支援 食 物		◎2015年7月／マクドナルド・ハウス・セタがやで毎月の食事作りを開始  「家庭的な味でほっとして欲しい」と作った初のミールはハンバーグ			◎2018年1月／聖路加国際病院にお弁当をお届け開始  病棟でも気軽においしく食べられるよう開発したオリジナル缶詰	◎2019年11月／佐賀大学医学部附属病院に缶詰・お弁当をお届け開始	◎2020年7月／東京医科歯科大学病院にお弁当をお届け開始	◎2020年10月／付き添い生活応援バック無償配付事業を開始	◎2022年／食支援を全国に広げるため、全国6拠点でパイロット事業を展開 ◎2022年11月／ミールづくり再開 ★2022年2月／食支援が累計5000食に
情報 その他				◎2020年11月／ソフトバンク様よりiPhone500台を寄贈いただき、コロナ禍緊急支援「オンライン面会支援」実施（～2021年3月）  コロナ禍を機に始まった「付き添い生活応援バック」				◎2021年9月／サポートプラス事業（一人親支援）（～2024年3月）	◎2022年9月／クチコミサイト「つきそい応援団」オープン

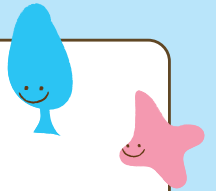
※2021年より毎年5～6月／啓発キャンペーン

情報による支援については10pへ!



「一食のごはん」の提供から、国を動かす提言まで

今まさに困っているご家族への“直接支援”と、“環境改善に向けた働きかけ”の両輪で活動しています。



2023年6月、3600人以上の声を集めた実態調査を記者発表し、国に提言しました



「付き添い生活実態調査2022」は230回以上報道されました



2024年5月21日、認定NPO法人として東京都から認定されました

●2024年5月／東京都に認定され、認定NPO法人に

- 2023年6月／「付き添い生活実態調査2022」調査結果を発表 国に要望書を提出
- 2023年10月～2024年3月／付き添いに関する国の検討会に参加 (2024年2月、国の令和6年度診療報酬改定にて付き添い環境改善の対策が盛り込まれる)

国への働きかけについては 11pへ!

全国の食支援の好事例を共有するセミナーに120名が参加

●2023年7月／日本小児看護学会にて、共催セミナーを開催



●2024年7月／日本小児看護学会、日本小児循環器学会にブース出演

●「Smiling Family Days2024」



「Smiling Family Days」を開催

食支援については 6pへ!

2023

2024年のキャンペーンでは歌手の麻倉未稀さんらがゲスト出演

2024

Future

2022年11月、待ちに待った3年ぶりのミールプログラムが再開!

●2023年10月／11の食支援団体で「小児病棟付き添い食支援連絡会 えんたく」発足

★2023年7月／食支援が累計7000食に

★2023年7月／付き添い生活応援パック送付数5000個に

★2024年4月／付き添い生活応援パック送付数7000個に

応援パックについては 8pへ!



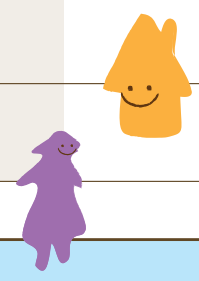
オリジナルデザインの段ボールで、病室に元気もお届け

エーザイ株式会社様の「遠距離面会サポートタクシー☆スマイル号」が街を走る

●2023年4月／つきそい応援団ハンドブックを全国の約700病院に配布

●2023年11月／面会支援に向け始動(ふるさと納税+クラファン)

●2024年5月／病院の付き添い環境支援に向けクラファン実施



Our Issues & Vision

“付き添い”という社会課題、私たちが目指す世界

大規模な調査を実施し、課題を明らかに。私たちが目指すのは、安心して付き添える・安心して任せられる入院環境です。

付き添い入院の3大困りごと。食・睡眠・見守り

「付き添い生活実態調査2022(※)」によると、付き添い入院中の親の約半数が体調を崩しています。困りごとのうち大きいのが、①ほぼ院内のコンビニで調達するしかなく、3食摂れないことも多い食環境、②9割が熟睡できず、8割が添い寝が狭い簡易ベッドに寝ている睡眠環境、③長時間・多岐にわたる子どものケアで目が離せない、です。

※正式名「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」

食事は泣いている子を横目に大急ぎ。しかも節約のため缶詰と白ごはんやカップラーメンの日々。

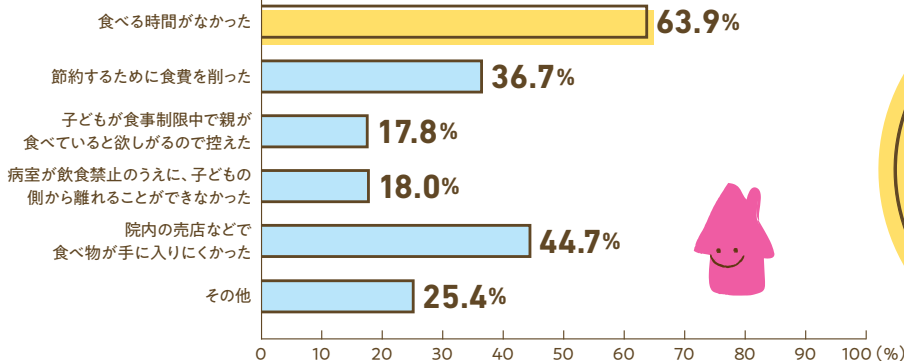
病室が飲食禁止のうえに、子どもが不安がるのでそばから離れられなかった。食事は基本、子どもが寝た際に院内コンビニへダッシュ。



詳細はこちら

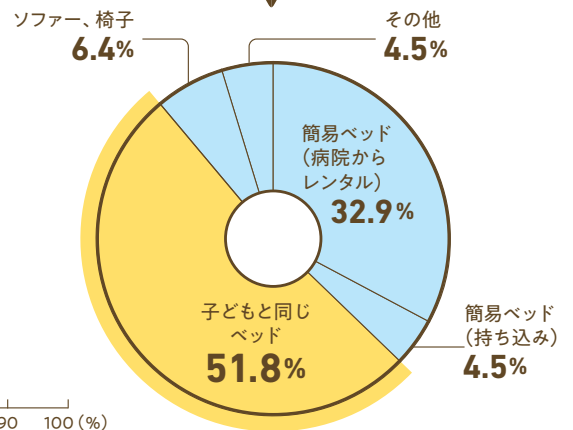
データで見る“付き添い”の現状

食事もままならない
3食を食べない理由(n=973)



「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」より

睡眠の厳しい状況
病室での主な寝床(n=3,282)



レンタルの簡易ベッドの値段が高く、持ち込みも禁止。子どものベッドに添い寝するしかなかった。



モニターのアラーム音、巡回による扉の開閉音、同室の子どもの泣き声、医師や看護師、清掃者など人の出入り...落ち着いて寝られず、常に寝不足。

検温や排泄物のチェック、巡回の対応など気忙しく、シャワーを使えない日も多い。子どもも体調不良から機嫌が悪く、長く離れられない。1日30分でも良いので誰かに見守りをお願いできれば...と思った。

大勢の子どもを少数の看護師で見るのは不可能だと思う。親が24時間付き添ってケアをするしかない状況だと思った。



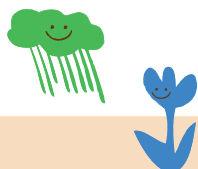
その他の困りごと…遠距離を通う面会、経済的な不安

“付き添い”の形態には2種類あり、病棟に泊まりこむ“付き添い入院”と、自宅やファミリーハウスから通って付き添う“面会”があります。近年は質の高い医療を提供できる拠点病院に患児を集める政策が取られ、自宅から片道2~3時間かけて面会に通うご家族も存在します。親への時間的・身体的・経済的な負担が大きくなっています。

仕事を続けられず、家族の食費も減らした。きょうだいの習い事もあきらめてもらった。



きょうだいがいるため付き添い入院ではなく面会に通った。自宅から病院まで片道2時間で交通費がかさみ、面会の回数を減らしたことも。夜帰る時に子どもに泣かれるのも辛く、体力的に限界がきて自分も倒れてしまった。



私たちが目指す世界

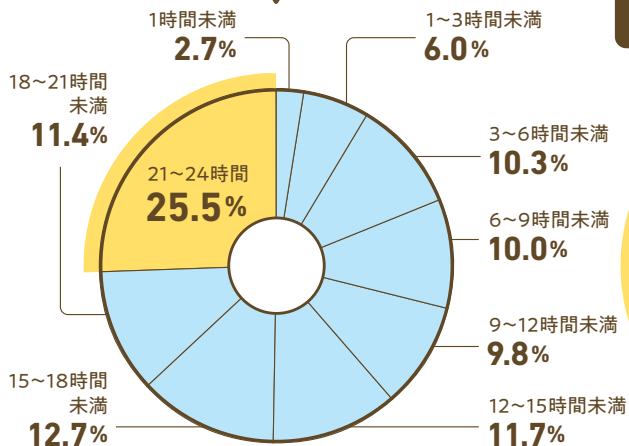
私たちが大切にしているのは、「病気の子もやきょうだい、いつでも親と一緒に過ごせる入院環境を保障されていること」です。それは子どもの大切な権利であり、親が付き添うことが回復や成長・発達に重要だと考えるからです。“付き添う／付き添わない”が選べることを前提に、親が健康を損なわず、経済的な負担も少なく安心して付き添え、付き添えない場合は安心して医療者に任せられ、親子がいつでも触れ合える世界を目指しています。



イラスト協力：ひらぎ舎

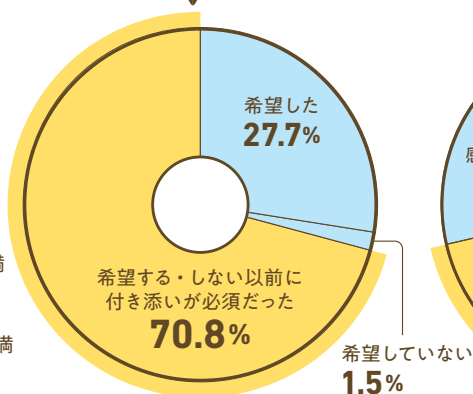
長時間におよぶケア

世話やケアに費やした1日あたりの時間 (n=3,643)



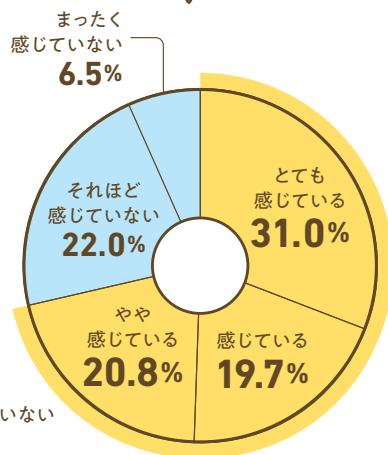
付き添うかどうか選択できない

—付き添い入院確認の有無 (n=3,282)



7割が感じる「経済的不安」

経済的不安の有無 (n=3,643)



Meal de Smiling

食で支援する一事業開始から累計8400食以上

ミールdeスマイリング事業

活動の原点となる事業。全国各地に食支援が広がるための活動もスタート。



ミールdeスマイリング 661食(※)

2015年から続く私たちの活動の原点とも言える事業で、「ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがやハウス」で手作り食を提供しています。料理のプロをリーダーに、ボランティアの方々と一緒にからだにやさしく旬の食材を使ったメニューを「おいしいごはんではっとして欲しい」の想いを込めて調理しています。大晦日にはお蕎麦やおせちを提供するなど、病室で長時間を過ごすなかでも季節を感じられるよう工夫しています。



ボランティアでご協力
くださっているプロの皆様

「No Code」米澤文雄シェフ
管理栄養士 可野倫子さん
「天ぶらやす田 銀座」店主 安田大吉さん
料理家 奥田こころさん
料理教室主宰 松井香代子さん



旬の食材と
スパイスを使った
「No Code」
米澤文雄シェフに
よる料理

お弁当deスマイリングin 東京 873食(※)



コロナ禍の対応として2021年1月から始まった、お弁当の配付事業です。2023年度は地域の飲食店13店舗と協働し、聖路加国際病院、東京医科歯科大学病院、ドナルド・マクドナルド・ハウス ふちゅうハウス、同東大ハウスにお届けしました。洋食から和食、サンドウィッチなど幅広いバリエーションに加え、ご紹介がご紹介を呼んで、お弁当に添えるお菓子やフルーツをご提供くださる企業様も増えています。



老舗洋食「銀座日東コーナ1948」様からは
おいしいハヤシライスとサラダ



味噌だれが絶品!
「矢場とん
東京銀座店」様の
ロースカツ弁当



無農薬や有機の
食材にこだわった
「温故知然まごわ
やさしい」様の
和食弁当

受け取ったご家族の声



いただきながら思わず涙が…

手術後子どもの容体が良くならず不安な毎日、ごはんを用意するのも面倒で味もあまり感じません。そんなとき、温かいお弁当をもらえてとても嬉しかったです。味も優しく、いただきながら涙が出てきました。明日も子どもに笑顔で会いに行きたいと思います。

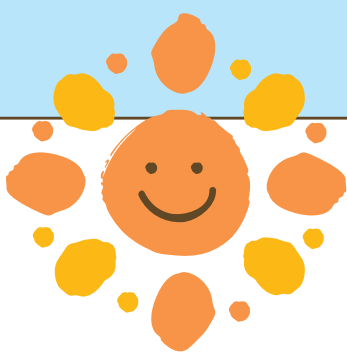
疲れた心がほっとしました

ハウスに来てから、こんなにたくさんのお野菜を使った、見た目も美しい料理を食べられて身体が喜んでます！疲れて帰ってきておいしいご飯を食べられると心もほっとします。安らぎの時間をありがとうございました。



いろんな方の応援が励みに

初めての長期入院で疲労もたまり孤独感も募っていましたが、おいしいお弁当と企業様からのたくさんの応援の品をいただき、家族だけでなくいろいろな方が応援してくださっているのを感じられました。大きな励みになりました。



消費期限の近い大量のご寄付も対応可能!



企業と地域の支援団体をつなぐ役割も!

消費期限が近く、かつ1000個を超えるような大量のご寄付も歓迎しています。ミール事業や「付き添い生活応援パック」などの自事業だけでなく、ネットワークを活かして全国のファミリーハウス(付き添い家族が病院の近くで寝泊まりするための施設)などにご提供し、喜ばれています。まずはぜひお声がけください。

in 佐賀 310食(※)



佐賀スタッフが地域の協力店を開拓し、佐賀大学医学部附属病院の小児病棟にお届けしています



佐賀市の結婚式場「アクアデビュー佐賀スイートテラス」様のシェフが作る華やかなお弁当。

※…2023年4月~2024年6月合計

食材提供でご協力いただいた企業様

(2023年4月から2024年6末まで)

- AGUMI Group
- 株式会社アンスリーファーム
- 有限会社F・Pフーズ(PETIT CUSTA銀座本店)
- 有限会社柑香園(観音山フルーツバーラー)
- 株式会社銀座木村家
- 銀座天ぶらやす田
- 株式会社サイテックファーム
- 株式会社つばめ
- 有限会社トレオン・ジャパン
- 西松建設株式会社



10団体とともに発起人に。「付き添い食支援連絡会 えんたく」を立ち上げ



2023年10月、食支援活動を行う全国の10団体とともに発起人となり、「小児病棟付き添い食支援連絡会 えんたく」を設立しました。同じ思いで活動する仲間づくりと付き添い食提供の普及を目的に、運営ノウハウや課題の解決を学ぶ全5回のオンライン勉強会を開催し、新たに付き添い食支援を始める団体も出てきました。(このプログラムは「タケダ・ウェルビーイング・プログラム2023」の助成を受けています)



オンラインによる設立総会の様子。勉強会には医師、看護師など多職種の医療者も参加し、熱心に質問が出る場となりました



「医療機関のための付き添い食支援ハンドブック」(16ページ)を制作。付き添い食をめぐる現状やニーズ、付き添い食支援の先進事例を紹介。



Support Goods

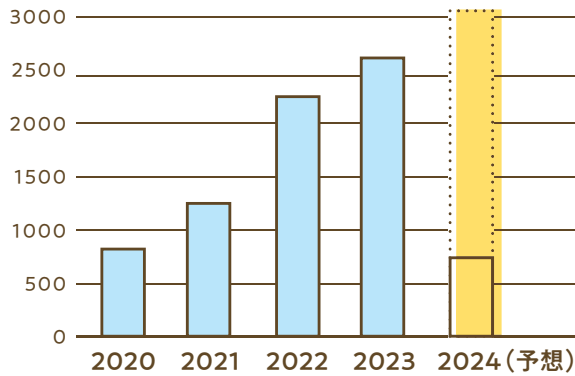
もので支援するー「応援パック」送付、累計7725個

付き添い生活応援パック無償配付事業

2020年、コロナ禍を機に始まり、全国の小児病棟の協力のもと拡大しています。

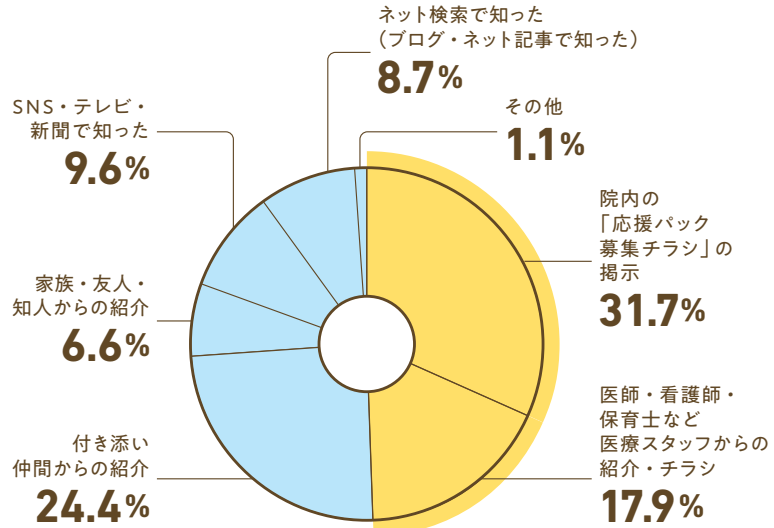


累計7725個の応援パックを 全国の付き添い者に無償配付



◎応援パック配付数(年度別)

2023年の送付数は2,615個と順調に応募が増えており、累計で7,700個を超えました(2024年6月末時点)。この事業には日本財団・日本歯科医師会「TOOTH FAIRY プロジェクト」の助成をいただいています。

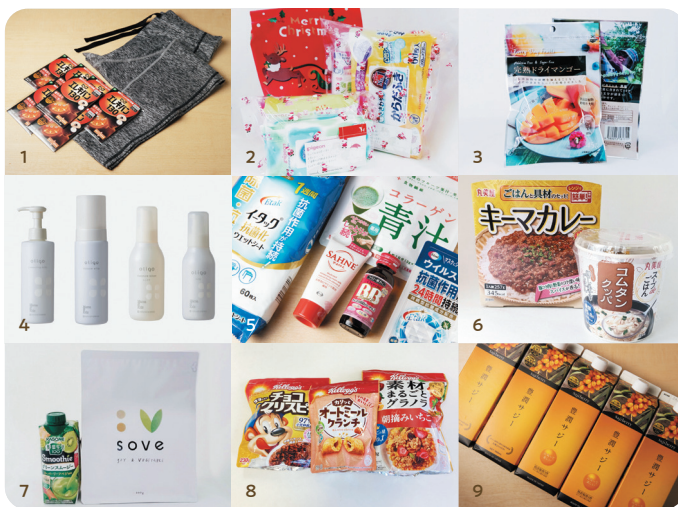


◎認知経路

全国の小児病棟のご協力により、認知経路の約半数が病院内の掲示や医療スタッフからの紹介です。この場を借りて深く感謝いたします。また、「付き添い仲間からの紹介」が前年度に比べ大きく増加しています。

支援品の提供に協力くださった企業は、事業開始から累計138社に

2023年度は新規で62社、合計84社が支援品の提供にご協力くださいました。協力企業様の一部をご紹介します。



- ①ピップ株式会社 ②ビジョン株式会社 ③株式会社ジャパン・ファームプロダクツ
- ④株式会社ナチュラルサイエンス ⑤エーザイ株式会社 ⑥丸美屋食品工業株式会社
- ⑦カゴメ株式会社 ⑧日本ケロッグ合同会社 ⑨株式会社フィネス (敬称略)



満足度アンケートでは、5段階評価で平均4.7

株式会社フィネス
専務取締役

祖父江 圭祐様



理事長の光原様より付き添いご家族の苦勞や取り組みの内容をお聞きて胸にぐっと込み上げるものがあり、お役に立ちたいと強く思いました。この出会いは偶然ではなく運命だと感じています。弊社の「豊潤サジー」にたくさんの喜びの声を頂戴し、こんなに嬉しいことはありません。





応援パックの応募者が多い主な病院

応援パックを送付した病院数は事業開始から累計412施設（2024年6月末時点）となりました。全国の小児中核病院109件（全体の91.6%）にお届けしています。病院での掲示や声かけなど、病院スタッフのご協力に

深く感謝いたします。一方、病棟で受け取れない病院もあり、支援が必要な方にすみやかにお届けできるよう病院と連携をとり、必要に応じてご相談をまいります。

病院名	配布数	病院名	配布数
01 福岡市立こども病院	95	17 熊本大学病院	35
02 ポバース記念病院	92	19 宮城県立こども病院	34
03 静岡てんかん・神経医療センター	75	19 札幌医科大学附属病院	34
04 名古屋大学医学部附属病院	58	21 新潟大学医歯学総合病院	33
05 九州大学病院	55	21 千葉県千葉リハビリテーションセンター	33
06 京都府立医科大学附属病院	52	23 岡山大学病院	32
07 兵庫県立こども病院	49	23 国立成育医療研究センター	32
08 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	47	23 大阪母子医療センター	32
09 広島大学病院	46	26 小倉医療センター	30
10 心身障害児総合医療療育センター	45	27 久留米大学病院	29
11 鹿児島大学病院	44	27 総合病院聖隷浜松病院	29
12 三重大学医学部附属病院	41	29 岩手医科大学附属病院	26
13 山形大学医学部附属病院	40	29 長野県立こども病院	26
14 大阪大学医学部附属病院	39	29 北海道立子ども総合医療・療育センター	26
15 福島県立医科大学附属病院	38	32 東京女子医科大学病院	25
15 北海道大学病院	38	32 東京大学医学部附属病院	25
17 京都大学医学部附属病院	35	32 富山大学附属病院	25

※2023年4月～2024年6月の期間において送付数が多かった上位34施設

受け取ったご家族からの声

申し込みの翌々日には届き、箱ぎっしりの品に驚きました。リーフレットを読み、たくさんの方や企業の応援に感激しました。つい自分を責めて涙を流す日々でしたが、前向きな気持ちになることができました。（宮城）



この取り組みを偶然SNSで知りました。コロナの影響で面会もなかなかできず自分の時間が1時間もない中、たくさんの食べ物や母親視線での支援物資（化粧水や歯ブラシなど）が入っていて感動しました。（兵庫）



長い付き添い生活で身も心も疲れているなか、美容に気遣われた品に癒されました。小さな費用でも積み重ねが痛く2～3日に一度しかシャワーに行けないので、洗い流さないシャンプーは特に助かりました。（愛知）



病棟スタッフより

応援パックを病室で付き添うご家族にお届けしていますが、皆さんが受け取ったときの喜びの笑顔を動画でお見せしたいほどです。その姿に私たち看護師も嬉しい気持ちになります。引き続き紹介していきます。

まだ入院4日目ですが、言葉を話せない娘と過ごす時間はふとした瞬間にとっても孤独を感じます。どれも素晴らしい商品でしたが、院内が乾燥しており喉の調子が悪くなっていたのでうがい薬が特に嬉しかったです。（東京）



Website & Handbook

情報で支援する一年10万人以上がアクセス



詳しくはこちら

クチコミサイト「つきそい応援団」とハンドブックで情報提供

付き添い生活に役立つ知見を共有。2022年9月のオープン以来、着実にアクセス数が増えています。

クチコミサイト「つきそい応援団」

付き添い経験者の“知恵や知見”を共有することで、同じ立場に置かれた家族の不安を“安心や笑顔”に変えるためのサイトです。全国140以上の病院別掲示板やテーマ別の掲示板があり、トピック立てや書き込みが可能です。また、付き添い生活に役立つ情報をコラムなどで提供しています。



病児・家族を支援する団体のプラットフォーム機能も

全国の「病気の子どもとその家族を応援する団体」の情報を掲載。自宅から離れた病院や土地勘のない地域で心細い思いをしている家族が、団体や仲間とつながる第一歩となるような役割を目指しています。



ハンドブック

お子さんが入院したらすぐに知って欲しい情報を8ページにぎゅっと詰め込んだ小冊子です。ダウンロードも可能で、病院の入退院受付窓口や小児病棟で配付いただきたく、病院や支援団体に無償で郵送しています。



Smiling Family Days



病気の子どもと家族みんなを応援する啓発キャンペーン

毎年母の日から父の日まで約5週間実施。付き添い環境の改善を目指し、社会課題として広く認識してもらうための活動です。

「#みんなで小児病棟を支えよう」クラウドファンディング

353人が438万円以上支援してくださりました！

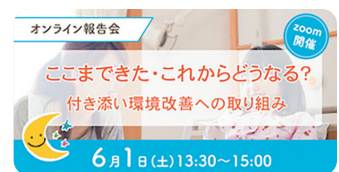


「小児病棟にわくわくを届けよう！」

北千住マウルイ様にて開催。小児病棟わくわく応援団や、ゲストに歌手の麻倉未稀さん、元日本代表サッカー選手橋本英郎さんが登場！

「付き添い環境改善への取り組み」勉強会

2024年6月までの1年間における国の動きなどをオンラインで解説



2024年は、付き添い環境改善に取り組む小児病棟に30万円分の「食or睡眠or見守り」支援を届けるクラファンを実施。目標を上回る14病院分の資金が集まり、応募いただいた20病院への支援を決定しました。(6病院分は自己資金を充当)

小児病棟わくわく応援団サミット2024

フィナーレを飾るイベントとしてYouTube Liveをリアルタイム配信

こども家庭庁の検討会に当事者を代表して参加

診療報酬改定に向けた新たな調査データも公表

過去に例のない大規模実態調査の結果を受け、国が付き添い環境の改善に乗り出しました。
この問題がようやく社会的課題であると認められました。



3643人の付き添い者の声が国を動かす

2023年6月1日、私たちは3643人の当事者の声から明らかになった「付き添い生活実態調査」に基づく要望書を国に提出。これを受け、秋には子ども家庭庁による検討会が開始され、付き添い環境改善に向けた話し合いが行われました。また、厚生労働省が取り組んだ令和6年度診療報酬改定には、見守りをはじめ、付き添い者の食事や睡眠などへの対策が盛り込まれました。



国への要望書の
閲覧はこちら



調査・ロビー活動

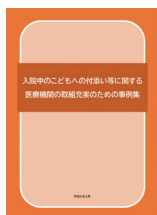
2023年6月	こども家庭庁・厚生労働省に要望書を提出 「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」公表 厚生労働省記者クラブ室で記者会見を実施
2023年10月	こども家庭庁 検討会(非公開)が開始 理事長・光原ゆきが患者委員の一人として参加 調査・政策チーム(渡辺・吉田)がサポート
2023年12月	「入院中の子どもに付き添う家族のケア記録調査」公表 令和6年診療報酬改定パブリックコメントに提出 こども家庭庁母子保健課、厚生労働省 医療課・地域医療計画課、 日本小児科学会、日本看護協会、日本小児看護学会にも送付
2024年2月	「令和6年度診療報酬改定について」団体の見解を発表
2024年3月	こども家庭庁 検討会(非公開)が終了 4月12日、検討会の成果物である 病院実態調査と医療機関の取組充実のための事例集が公開

付き添い環境改善に向けたロビー活動の成果

1. こども家庭庁 検討会の成果物

「入院中の子どもへの家族等の付添いに関する
病院実態調査」
「入院中の子どもへの付添い等に関する
医療機関の取組充実のための事例集」

この検討会の成果物として取り組んでいた「病院実態調査」の調査項目や「事例集」の方針・内容に子どもたち(入院児・きょうだい児)とその家族の意見が十分に反映されるよう患者委員として当事者の意見を伝え、小児医療関係者との対話を重ねました。小児医療の現場で、付き添いの指針として事例集が活用されることを心から願っています。



病院実態調査・
事例集の
閲覧はこちら

2. 令和6年度診療報酬の改定項目

「保育士の加算」(複数名かつ夜間に配置している場合の評価を新設)
1名の場合 100点(1日につき) 2名以上の場合 180点(1日につき)
「看護補助者の加算」(夜間を含めて配置している場合の評価を新設)
看護補助加算 151点(1日につき)
看護補助体制充実加算 156点(1日につき) ※1点=10円
「付き添いを希望する家族への食事・睡眠環境等への配慮」
小児入院医療管理料を算定する医療機関の算定要件として規定

令和6年度診療報酬改定に付き添い環境の改善策が盛り込まれるよう、2023年1~2月に実施した「ケア記録調査」(付き添い者が入院中に行っている世話やケアの内容、その所要時間を詳細に記録する)の結果を、診療報酬改定のパブリックコメント(事前に一般から意見を募り、その意見・情報を考慮して意思決定する仕組み)に提出しました。大規模実態調査だけでなく、50名余りの付き添い者にご協力いただいたケア記録調査も診療報酬改定の大きな後押しになったと確信しています。



入院中の子どもに付き添う
家族のケア記録調査

報告レポート

2023年12月

NPO法人キープ・マウス・コミュニケーションズ

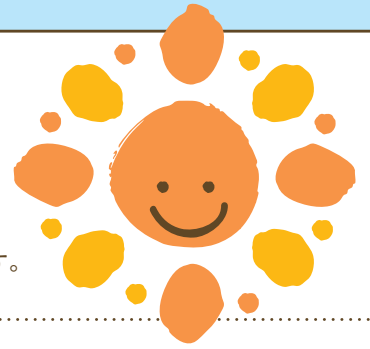


ケア記録調査の
詳細はこちら

活動を支えてくださる皆様

たくさんの企業や団体、個人の方々が活動を支えてくださっています

2020年以降、「付き添い生活応援パック」やクラファンの実施で、支援者(社)が増加しています。

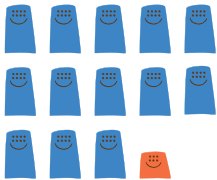


支援企業・団体数

2020年に「付き添い生活応援パック」を開始して以来、協賛品でご支援いただく企業が増え続けています。付き添うご家族を安定的に支援するため、法人賛助会員・法人マンスリーサポーターも広く募集しています。

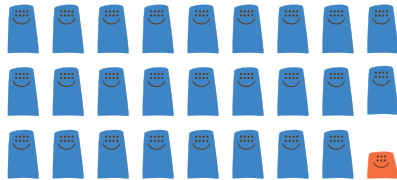
2023年度

137社



団体発足から累計

266社



支援者数

2022年からのクラファン活用や、2021年からのふるさと納税の開始により、個人のご支援も順調に増加しています。付き添い生活応援パックの応募増加が見込まれるため、マンスリーサポーターを増やす施策を検討中です。

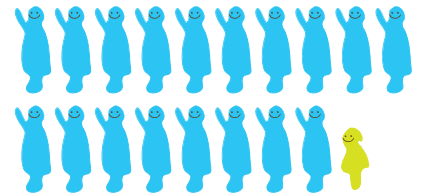
2023年度

632人



団体発足から累計

1860人



支援者の声

企業・団体様も個人様も、さまざまな形でご支援くださっています。

(詳細は裏表紙参照)

企業様は内容をご相談しながらコラボレーション企画なども可能です。

アスクル株式会社様

活動に共感し、アスクルスイートポイントからの寄付や、「応援祭」というイベント内の「環境スコアで子ども応援キャンペーン」唯一の寄付先として選ばせていただきました。

ふるさと納税

自分が共感して応援したいと感じた活動に、税金が確実に良い形で使われる…このふるさと納税のしきみがあるのは嬉しいです。

都度寄付

2016年から毎年1回、ボーナス額が決まると寄付しています。忙しくて直接支援ができないぶん信頼できる団体に託せることはありがたく、働く励みにもなっています。

マンスリーサポーター

かつて我が子が入院し、妻に付き添いを任せきりでした。今さらですが新聞でその過酷さを知り、少しでも同じ境遇のご家族を応援しようとマンスリー会員になりました。

アサヒグループ食品株式会社 アマノフーズ様

ご縁があり、付き添いパックにフリーズドライのおみそ汁をご提供しています。温かくおいしいおみそ汁を飲んで、少しでもゆっくりできるお時間が持てますように。

エーザイ株式会社様

付き添うご家族のお役に立ちたいと、商品や応援パック用段ボールのご提供、ボランティア参加、面会支援の無料タクシーなど実施しています。今後も全面的に協力して参ります。

いなげ未来 クリニック院長 寺田和樹様

子どもを最優先にして自分は後回し…という親御さんをたくさん見てきました。ご家族の支えとなるキープママさんの重要な取組み、クラファンでも応援させていただきます。



私たちの活動にご寄付・ご支援をくださっている企業・団体の皆様



R.B.G株式会社、アイマックスジャパン株式会社、アコム株式会社、株式会社アジュバンコスメジャパン、一般社団法人新しい贈与論、一般財団法人阿部亮財団、株式会社アヤナス大宜見、株式会社アルマテラ、アンダーワークス株式会社、株式会社医食同源ドットコム、株式会社インティ、株式会社WOILマネジメント、エイチアンドダブリュ株式会社、株式会社オウルズコンサルティンググループ、株式会社Optional、一般社団法人想いを紡ぐ会、株式会社かならば、ギフトショップfuto、株式会社木曾繪三百年、株式会社木の屋石巻水産、牛乳石鯨共進社株式会社、株式会社極洋、NPO法人銀座ミツパチプロジェクト、クラシエホールディングス株式会社、株式会社GreenEnd、KDDI株式会社、ゴージャージャパン株式会社、株式会社Gold heart、株式会社 彩生舎、3時のかんぶつやさん、サンスターグループ、株式会社CJKメディカルラボ、シオノギヘルスケア株式会社、株式会社SIORIS、シスコシステムズ合同会社、有限会社至誠庵、シュバイツァー高橋株式会社、一般社団法人食品ロス・リポーンセンター、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、SPECTRUM株式会社、株式会社セールスフォース・ジャパン、ソフトバンク株式会社、大樹生命保険株式会社、大正製薬株式会社、株式会社TARAPRESENCE、中外製薬株式会社、企業組合津島あぐり工房、株式会社つばめ、株式会社ディアーズ・ブレイン、東京山王ロータリークラブ、東京中央新ロータリークラブ、東京玉川ライオンズクラブ、東京ピアノ株式会社、株式会社Tommy、トリップ・インターナショナル・ジャパン株式会社、株式会社トワメイト、日本菓子BB協会、公益社団法人日本フィランソピシー協会、株式会社にんべん、株式会社ネットワークコミュニケーションズ、株式会社Halu、株式会社久松農園、株式会社美・ファイン研究所、株式会社琵琶湖グランドホテル、株式会社ファーストリテイリング、株式会社ファンケル、株式会社フェリシモ、ブックオフコーポレーション株式会社、株式会社Brace、株式会社フロムハンド、株式会社ヘアジェニアス・ラボラトリーズ、一般社団法人星つむぎの村、弁護士法人山下江法律事務所、POST COFFEE株式会社、マイクロメモリジャパン株式会社、株式会社松崎商店、北千住マルイ、マルハニチロ株式会社、マンダリンオリエンタル東京、三島食品株式会社、株式会社michiteku、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社メイセイレーディング、mog株式会社、森永製菓株式会社、株式会社ユー花園、株式会社ユーグレナ、株式会社有恒、有限会社リバーサイド、株式会社龍角散、ロート製薬株式会社、株式会社ワコールホールディングス…その他にもたくさんの企業・団体様よりご支援をいただいています



メディア掲載・講演・イベント一覧 (主要なもののみ)



活動レポートを見る

掲載月	メディア名など	
2023年	5月 ● Smiling Family Days2023キャンペーン開催(5/14~6/18)	
	6月 ● 「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」の概要を記者発表(※以下、付き添い生活実態調査と略) ● こども家庭庁と厚生労働省に要望書を提出 ～新聞やテレビ、ウェブメディアなどで230回以上取り上げられる～ ● 読売テレビ ニュースten、「カラフル」特集 ● 読売新聞「国が今秋、付き添い入院の実態調査へ」 ● 一般向けに「付き添い白書を読む会」開催	
	7月 ● 読売新聞「安心の設計」で付き添い入院特集 ● 朝日新聞HUGSTA7月号で付き添い入院特集 ● 日本大学 文理学部の授業に登壇 ● 小学館「Hugkum」で活動紹介	
	8月 ● ジャパン・キャンサー・サバイバーズ・デイにブース出展 ● 日本小児看護学会第33回学術集会 付き添い者の「食」を考える共催セミナー開催 ● NHK「視点・論点」に出演	
	9月 ● Yahoo!ニュース「付き添い生活実態調査」 ● 共同通信の海外向け記事で「日本の付き添い入院の実態」特集	
	10月 ● フジテレビ「フューチャーランナーズ」 ● 「FITチャリティ・ラン2023」オンラインイベント登壇	
	11月 ● 「月刊 赤ちゃん!」に「付き添い生活実態調査」紹介	
	12月 ● 「経営活性化フォーラム」登壇	
	2024年	1月 ● 日本テレビ「NNNドキュメント'24」 ● FM AICHI「小児病棟付き添い食支援連絡会えんたく」
		2月 ● AERA「がんと共に生きる」特集で付き添い家族の就労問題についてコメント ● 読売新聞で付き添いに関わる診療報酬の改定についてコメント
		3月 ● 中央法規出版のサイト「けあサポ」インタビュー掲載 ● 中央区立佃中学校、食育セミナー登壇 ● 日本ファンドレイジング協会のイベント「FRJ2024」に登壇
		4月 ● NHKニュースで国による医療機関の付き添い調査についてコメント
5月 ● 「Smiling Family Days2024～#みんなで小児病棟を応援しよう」開催 ● 中日新聞、東京新聞の朝刊暮らし面に、活動とクラファンが紹介		
6月 ● 『ここまできた・これからどうなる?付き添い環境改善への取り組み』開催 ● クラーク記念国際高等学校で講演		



2023年6月の「付き添い生活実態調査」発表では、国に要望書を提出するシーンも報道



学校での講演のほか、企業や団体などからも講演の機会を多数いただきました



読売テレビのニュースten、「カラフル」で光原理事長を特集。活動内容と想いが伝わる15分



この番組を見る



10年間でいただいた表彰など

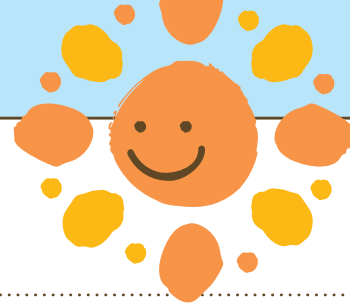
「Forbes JAPAN」2022年5月号「すぐれた非営利団体30選」に選出されるなど、さまざまな形で活動を評価いただいています



2023年
「SDGsジャパン
スカルシップ
岩佐賞」受賞



2021年
欧州製薬団体連合会の
第4回 PASE AWARDにて
「付き添い生活応援バック」
事業が大賞を受賞



決算報告

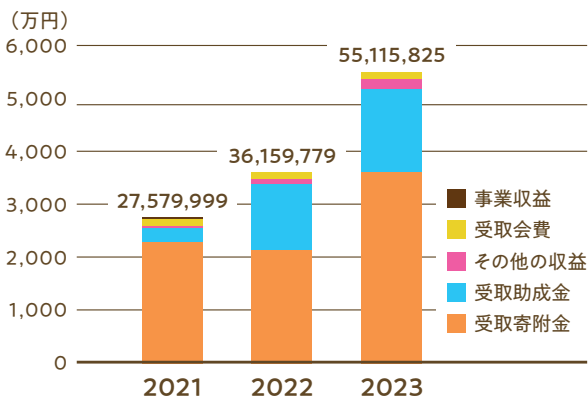


2023年度活動計算書

(2023年度4月1日～2024年3月31日)

科目	金額
A 経常収益	
受取会費	1,240,000
受取寄附金	36,232,060
受取助成金等	15,686,920
その他収益	1,956,845
経常収益合計	55,115,825
B 経常費用	
事業費	28,148,647
付き添い生活支援事業	18,362,647
調査・普及啓発事業	9,786,000
管理費	5,613,132
経常費用合計	33,761,779
当期経常増減額【A】-【B】=①	21,354,046
C 経常外収益	
経常外収益計	0
D 経常外費用	
固定資産売却損	91,080
経常外費用計	91,080
当期経常外増減額【C】-【D】=②	(91,080)
税引前当期正味財産増減額 ①+②=③	21,262,966
法人税、住民税及び事業税 ④	
前期繰越正味財産額 ⑤	29,548,264
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤	50,811,230

経常収益の推移(3期比較)



<収益>

経常収益は、10期目にして5,000万円を超えました。収益の65.7%は寄付金、28.5%は助成金が占めています。寄付金は企業様からの寄付が増加したことに加え、約1,200万円は2024年度の新規事業「面会支援」に向けて広報し、ふるさと納税などで広く集めることができました。また、事業拡大にともなって2024年度にオフィス移転の必要が生じたため、管理費として使用する予定です。今後も適正な管理に努めるとともに、引き続き活動に共感いただける企業様とのご縁を大切に、尽力してまいります。

<費用>

前年度より700万円増加しました。「付き添い生活実態調査2022」の分析やまとめ(記者会見等含む)、ホームページのリニューアル、事業基盤を強化するための業務システム構築などによるものです。また、事業の拡大にともない、業務委託スタッフへの報酬も増加しました。

2023年度の活動を

ご支援いただいた助成金・報奨金

助成金の多くは支援事業に対する助成で、「TOOTH FAIRY」は応援バック等、「地域のちから」はミールdeスマイリング、「タケダ・ウェルビーイング・プログラム」は食支援の「えんたく」(7p参照)に活用させていただいています。皆様の期待に応えられるよう全力で活動していきます。

- TOOTH FAIRY プロジェクト
(日本財団・日本歯科医師会)
- キリン・地域のちから応援事業(キリン福祉財団)
- タケダ・ウェルビーイング・プログラム2023
(武田薬品工業株式会社)
- For Children 基金(公益推進協会)
- SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞
(岩佐教育文化財団)
- FITチャリティ・ラン
- だいじょうぶだよ! 基金(しんぐるまざあず・ふぉーらむ)

この活動計算書が会計帳簿の記載金額と一致し、特定非営利活動法人 キープ・ママ・スマイリングの収支を正しく示していることを認めます。

監事 三浦 真(公認会計士)



詳しくはこちら

Donation

支援の方法

子どもが入院しても、安心して付き添える社会へ。
子育て世代のセーフティネットを共に作りませんか？



支援の方法を見る



寄付金控除により、寄付金の最大50%が戻ります！

キープ・ママ・スマイリングは認定NPO法人となり、ご寄付は寄付金控除(税制優遇)の対象となります。
最大約40%の所得税控除と、東京都にお住まいの方は住民税控除と合わせると最大50%の控除が受けられます。

所得税：(36,000円-2,000円)×40%=13,600円
→合計13,600円の控除が受けられ、毎月の実質負担額は2,000円未満となります。

たとえば、個人の方が

毎月3000円のご寄付をされる場合

毎月の実質負担額は

2000円未満に

東京都の方は…

住民税10%分を加え、

1600円程度に



マンスリー サポーター

月1,000円から始められる
継続的な支援が、
事業の屋台骨となります。

月1,000円

のご寄付で
毎月1人に
お弁当を
お届けできます



月3,000円

のご寄付で
毎月1人に
応援バックを
お届けできます



月5,000円

のご寄付で
1年で20名に
付き添いバックを
お届けできます



都度寄付

三菱UFJ銀行

支店名：本店 普通口座1766316
口座名義：特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング
よみがな：トクヒ)キープママスマイリング

郵便振替

口座番号：00180-2-551449
口座名義：特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング
※郵便局に備え付けの振替用紙にご記入の上お振込ください

個人の支援

ふるさと納税による寄付

ミールdeスマイリングでご縁のある佐賀県のNPO支援のしくみを使い、
寄付ができます。寄付額のうち2,000円を超える部分について、所得税
および個人住民税からそれぞれ控除が受けられます。

買って応援

- Amazon ウィッシュリスト
- アスクルポイント
- チャリティグッズ購入
- イオン黄色いレシート

売って応援

- ブックオフ「キモチと。」
- 買取大吉「モノ募金」

遺贈寄付

法人の支援

賛助会員

一口10万円～

現物寄付・

協賛

コラボレーション

- コーズマーケティング
- フードドライブ開催
- オリジナルグッズ提供など

ボランティア・プロボノ

※控除対象外となる寄付もありますので、詳しくはウェブサイトをご覧ください(右上QRコードより)



本冊子は
ザーネブランドの
協力により
制作しております。



キープ・ママ・スマイリング
Keep Moms Smiling!

公式サイト



認定特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング
〒104-0061 東京都中央区銀座4-13-19 銀林ビル4F
info@momsmile.jp https://momsmile.jp